



松田町から贈った千羽鶴
(H24. 6. 22、旧陸前高田市役所玄関)

被災地に職員派遣を!



質問者
利根川 茂 議員

東日本大震災から16ヶ月が過ぎ、甚大な被害を受けた地域、特に陸前高田市とは市長の母上が本町出身ということで、昨年来より桜の植樹・児童のスポーツ交流・ボランティア派遣等の援助活動を行ってきましたが、今こそ1ヶ年程度の職員派遣が必要で

陸前高田市役所の職員とともに、復興対策や被災者家族の健康管理、生活支援活動に従事し、ともに考え、学び、行政に従事した経験が、近い将来予想されている東海大地震に本町が襲われた際、大いに役立つと考えます。

町長の考えを示された

A 被災地体験は重要です 回答(町長)



県からの要請により、現在までに若く行動力のある職員を4名、延べ33日間、被災地へ派遣し

た。町村においては、限られた職員数で日々の行政運営を行っている。特に、保健師や土木技師を長期に派遣することは、代替要員の確保が難しいことで、長期の派遣には対応していない。

被災地での避難所の運営や仮設住宅における心のケア、また復興対策等に従事した経験は、今後の本町における防災対策に、大いに役立つと思っている。

「想定外の大災害」への対応について



質問者
鍵和田 貴実代 議員

最近の報道では、「活断層が富士山の直下まで伸びていて、地震が起きた際に山崩れによる土砂災害が懸念される」とのこと。また、99年の台湾中部のM7.7の大地震では、7m段差でダムが崩壊しています。国内40のダムの直下には、活断層の疑いがありますので、次の2点についてお聞きいたします。

職員の希望・現在の職務・代替の可能性・職員の生活状況など多角的な視点から検討し、判断したいと考えている。

(1) 大地震が発生した場合、松田町の山間地で山津波の発生が考えられますが、その対策は。

(2) 三保ダム管理事務所では、「崩壊による被害想定はしていない」とのことですが、想定外のダム崩壊による安全対策の見直しや、住民に対する緊急避難の周知が必要です。その

ためには、酒匂川下流の2市4町の首長と連携するお考えは。

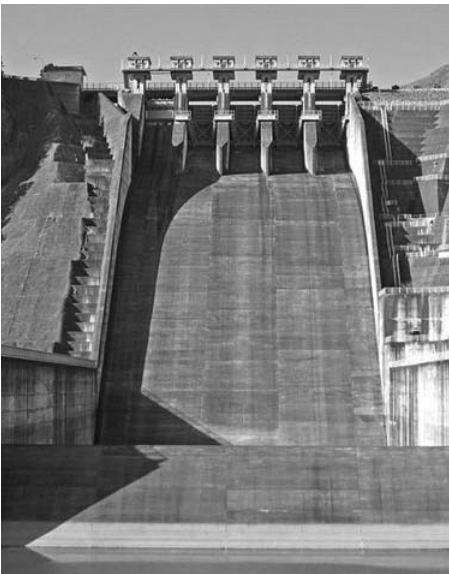
A さらなる安全確保に 回答(町長)



(2) 2市4町の担当者で「三保ダムの安全性への不安解消に向けた取り組み」についての意見交換会が開催された。現地視察も行い安全である旨の説明があった。

県と県西地域首長懇談会では、「住民に対して不安を払拭できない。最大クラスの地震を想定し、三保ダムの耐震性を検証し安全性を示して欲しい」と要望。

県からは、「今回の地震で同じ設計基準で造られたダムに影響はないため、安全は確保される。今後ダムの安全性の調査を計画的に行う」との回答を得ている。



三保ダム